

大腸癌に対する FOLFIRI+Panitumumab療法

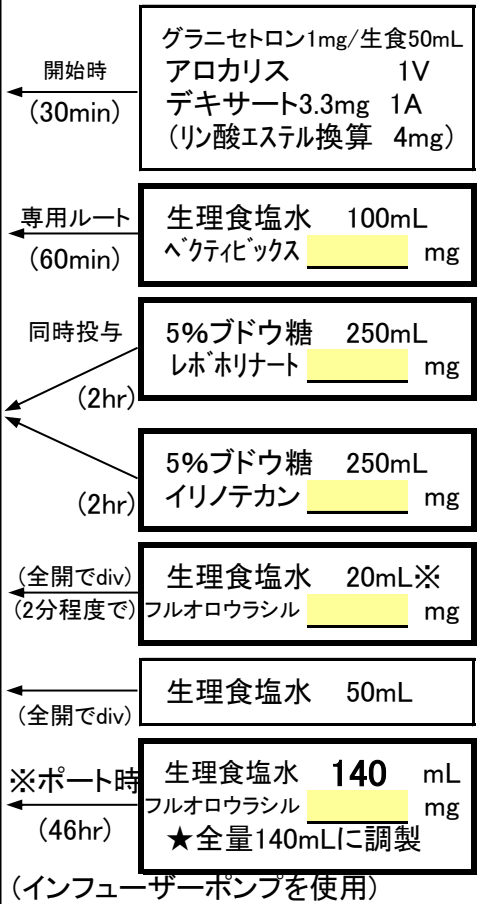
(レボホリナート+イリノテカン+フルオロウラシル+ベクティビックス) RPHW_DRPHW_1

2010年10月10日 承認
2024年08月30日 改訂

Dr.sign		Ns.sign		Ph.sign		
病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示】			
	月 日 ~ ()コース目	コース予定	☐ 調製可 ☐ TEL連絡後調製			
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			
			☐ 有 ☐ 無			

Day1 (/)

本管(中心静脈ポート) ルート確保後、主管は止めること
生理食塩水 100mL 側管



終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、
自己抜針してもらう)

Day2 (/) ~ Day3 (/)

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を
1日2回(朝昼食後) 服用

FOLFIRI+Panitumumab療法

標準投与量:

Pmab	6 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m ²	day1
CPT-11	150 mg/m ²	day1
5-FU	400 mg/m ²	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m ²	(46hr持続)
2週毎		